

## 資源・エネルギーの使用削減

### 道床交換作業

道床とは、線路に敷き詰められている砕石のこと。列車の重さを受け止めて分散させ、振動を和らげる働きをします。

何度も電車が通過するうちにバラストの表面や角が削れ、レールの横方向の高さにズレが生じるため、道床の状態を定期的にチェック・交換し、列車走行時の騒音・振動の低減を図っています。



### 散水装置などの設置

大谷・上関寺・上栄町・札の辻・浜大津・四宮車庫構内に散水装置を設置。さらに、800系3両、600形3両に塗油装置を設置しています。

これらの装置の設置により、レールと車輪の間で発生するキシリ音を低減させることができ、列車運行の低騒音化を実現しています。



### 騒音の低減

警笛個所の見直しや早朝深夜の駅の自動放送および扉を閉める時の警報音の音量低減など、音の発生源に関してきめ細かなチェックを実施。大津線では、800系車両に従来の空気式警笛よりも音色が柔らかく、騒音が低減できる電子警笛を採用しています。

また、車輪踏面の傷の早期発見と修理、曲線・勾配個所や線路分岐点通過時の速度の抑制などによっても、騒音の低減を図っています。

#### ※1 低騒音型の建設機械の導入

新線建設などの工事では、建設機械の使用に伴い騒音や振動が発生します。当社では、低騒音型建設機械を導入して騒音の低減を図り、より良い地域環境の実現をめざしています。



#### ※2 ミーティングの徹底

作業前に「騒音・振動ミーティング」を実施し、騒音・振動に対する意識を徹底。工事仕様書にも騒音・振動の低減について明記するなど、工事委託会社と一体となり意識の向上と実施内容の理解、意思の統一を図っています。



※1 ※2 写真はいずれも中之島新線建設工事現場のもの。中之島新線については次ページもご参照ください。

### 鉄道部材のリサイクル

使用後のPCまくらぎや保守作業で発生した銅線くずや鉄線くずなどは、特定リサイクル会社に。

また、密閉式ニッケル電池・ニッケル水素電池・リチウム電池・小型シール鉛蓄電池などは他の電池と分別収集のうめメーカーに返却し、リサイクルを行っています。



### 乗車券のリサイクル

お客さまにご購入いただくきっぷについてもリサイクルを推進しています。使用済みのきっぷに関しては、自動改札機を通して回収後、パルプと磁性体に分離して古紙として再生しています。

当社では、京阪線全駅と改札内にトイレがある大津線の7駅のトイレに、きっぷをリサイクルしたトイレトーパーを設置しています。

### ゴミのリサイクル

駅のホームのゴミ箱を「新聞・雑誌」「カン・ビン・ペットボトル」「その他のゴミ」に分類。お客さまにゴミの分別にご協力いただいています。

2003年度は2,526tが回収され、そのうち新聞やカン、ビンなどはリサイクルされています。

